

2005年3月期 業績見通し

2005年3月期通期業績予想（連結）

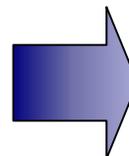
予想ハイライト

（億円）

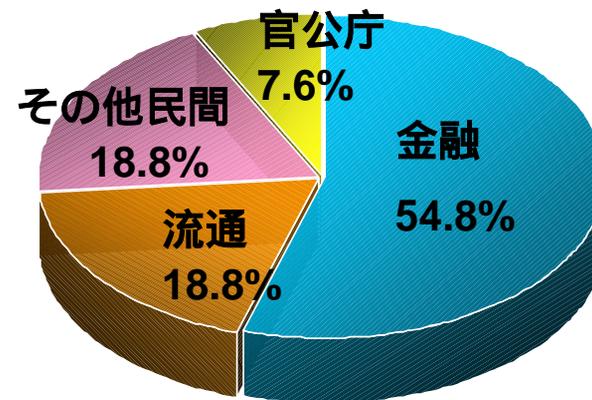
	2004年3月期実績	2005年3月期（予想）	
			増減率
売上高	2,380	2,500	5.0%
営業利益	280	300	7.1%
営業利益率	11.8%	12.0%	0.2P
経常利益	292	303	3.4%
当期純利益	182	176	3.7%
1株当たり当期純利益	¥399.44	¥391.11	2.1%
1株当たり配当金	(予想) ¥40.00	¥40.00	

2005年3月期業種別累計売上予想（連結）

2004年3月期実績

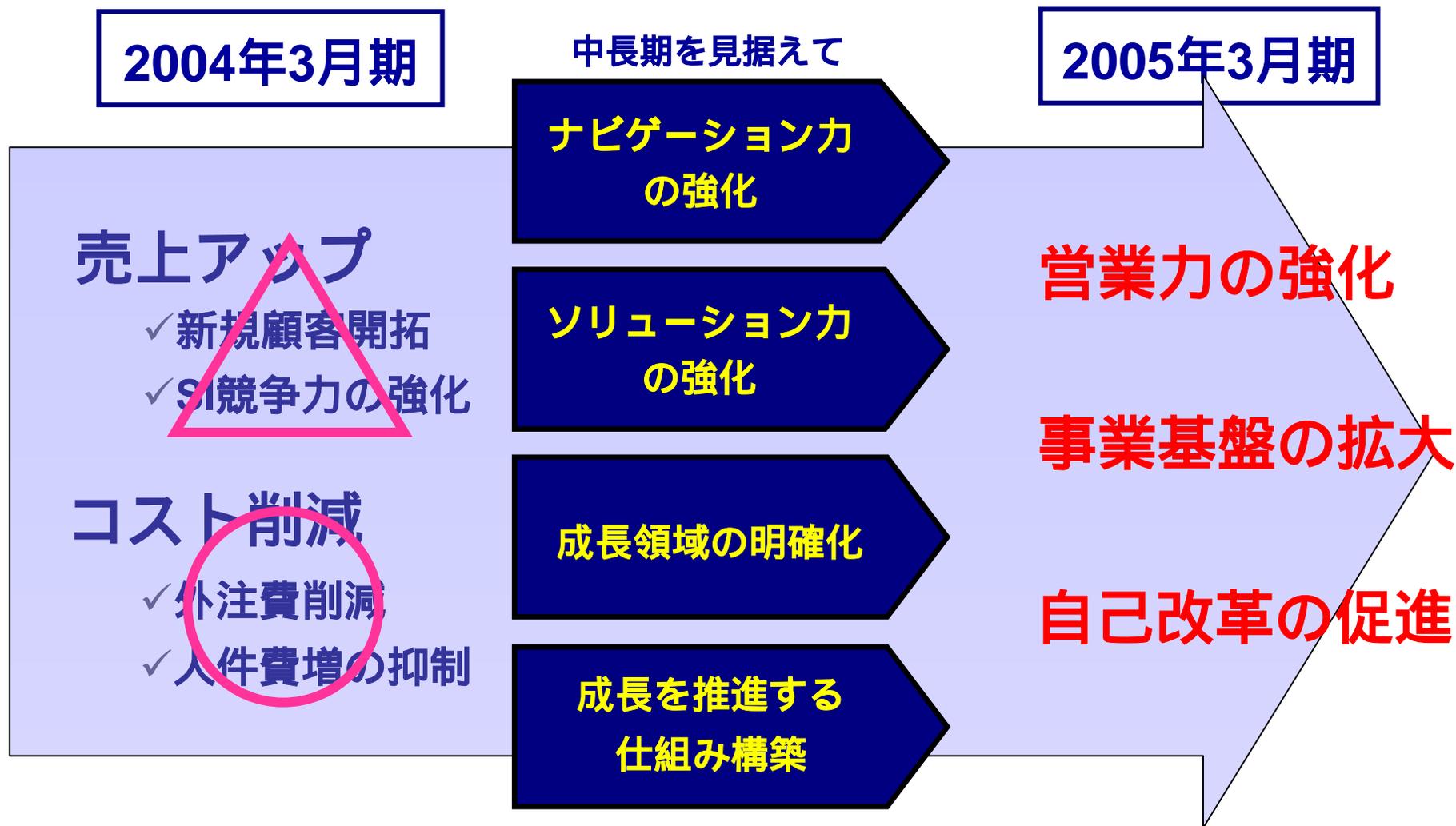


2005年3月期（予想）

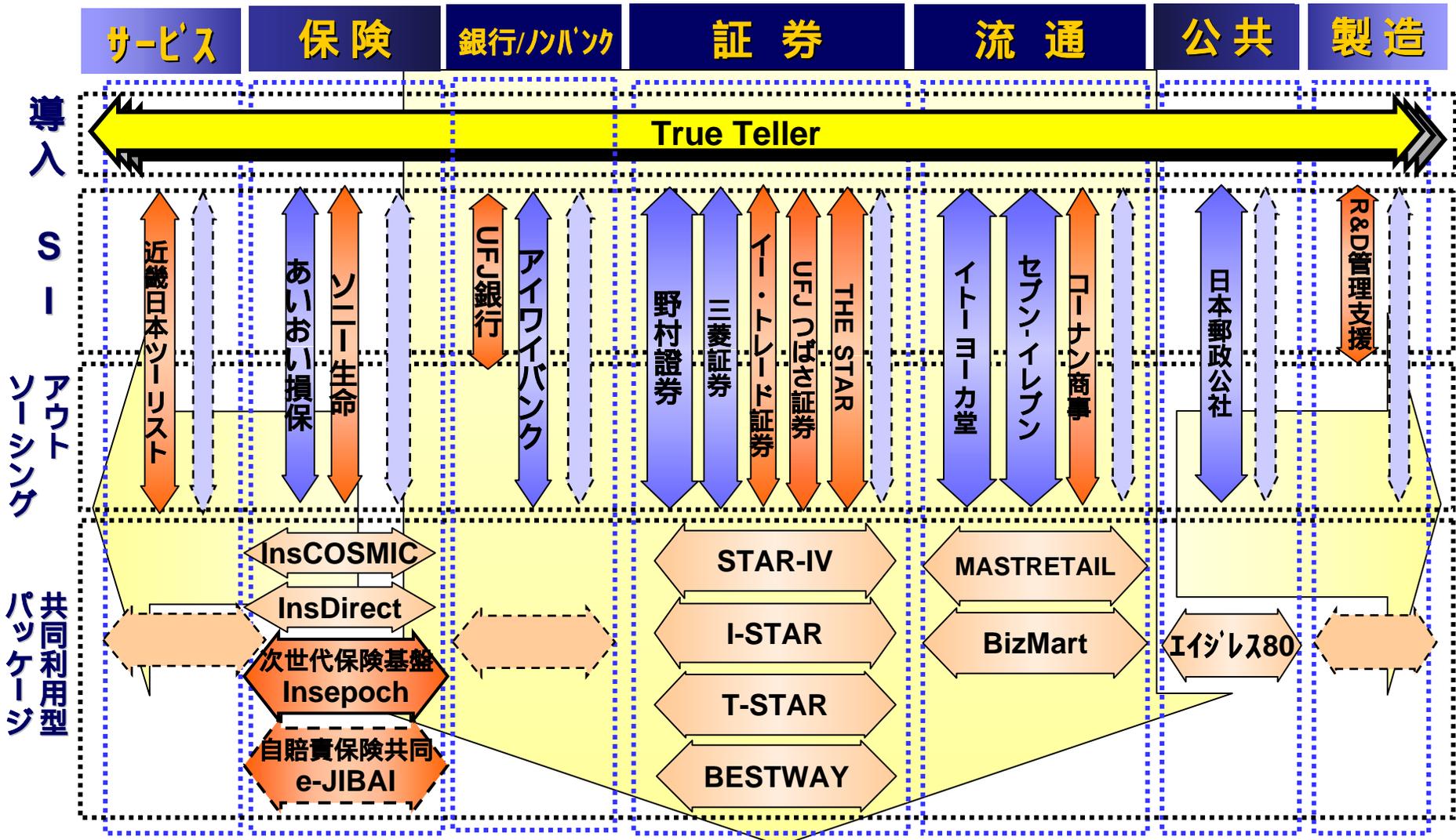


（億円）

	2004年3月期		2005年3月期		増 減	
	（実績）	構成比	（予想）	構成比		増減率
金 融	1,251	52.5%	1,370	54.8%	118	9.5%
流 通	446	18.8%	470	18.8%	23	5.2%
そ の 他 民 間	484	20.3%	470	18.8%	14	2.9%
官 公 庁	198	8.3%	190	7.6%	8	4.3%
合 計	2,380	100.0%	2,500	100.0%	119	5.0%

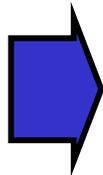


営業力の強化：選択と集中



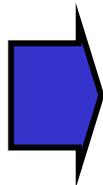
2004年3月期の公表事例

■野村証券グループ



野村証券グループがグローバル競争を勝ち抜くために必要なIT力を支える

■イトーヨーカ堂グループ



IYグループの自己改革をサポートし、今後10年を見据えた関係を構築する



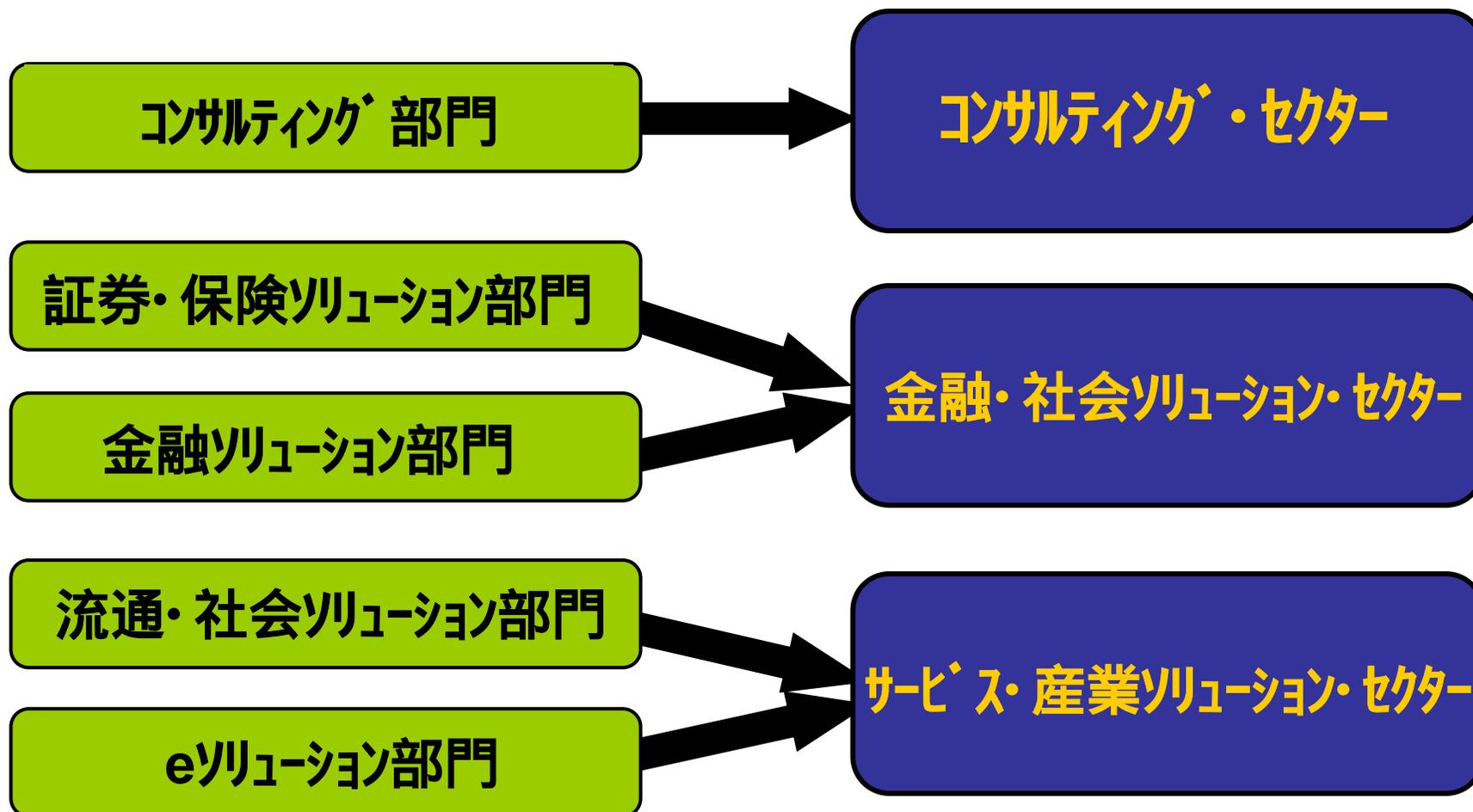
2004年3月2日
日本経済新聞



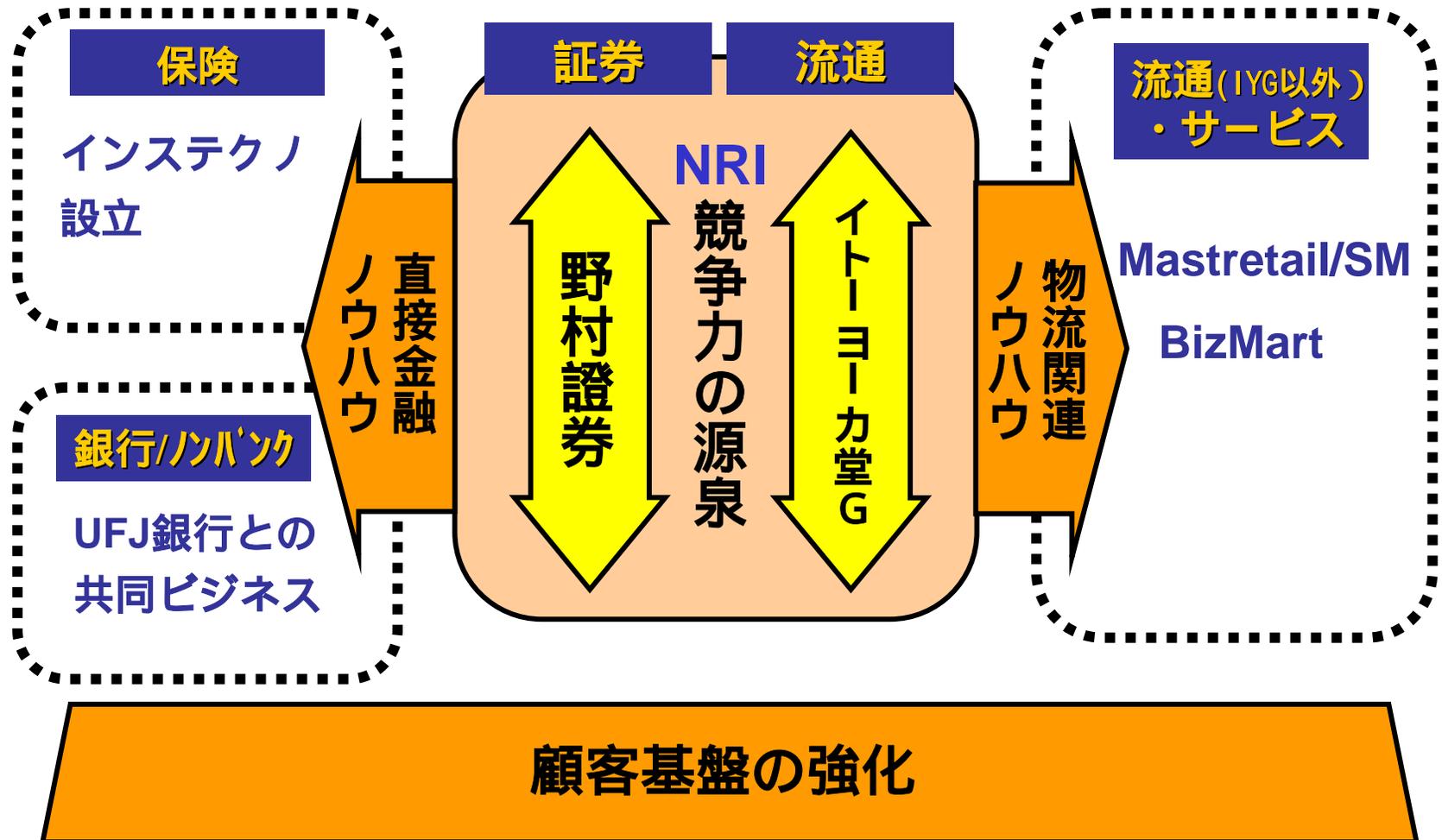
2004年4月6日
日本経済新聞

▶ 主要5部門を3セクターに改編

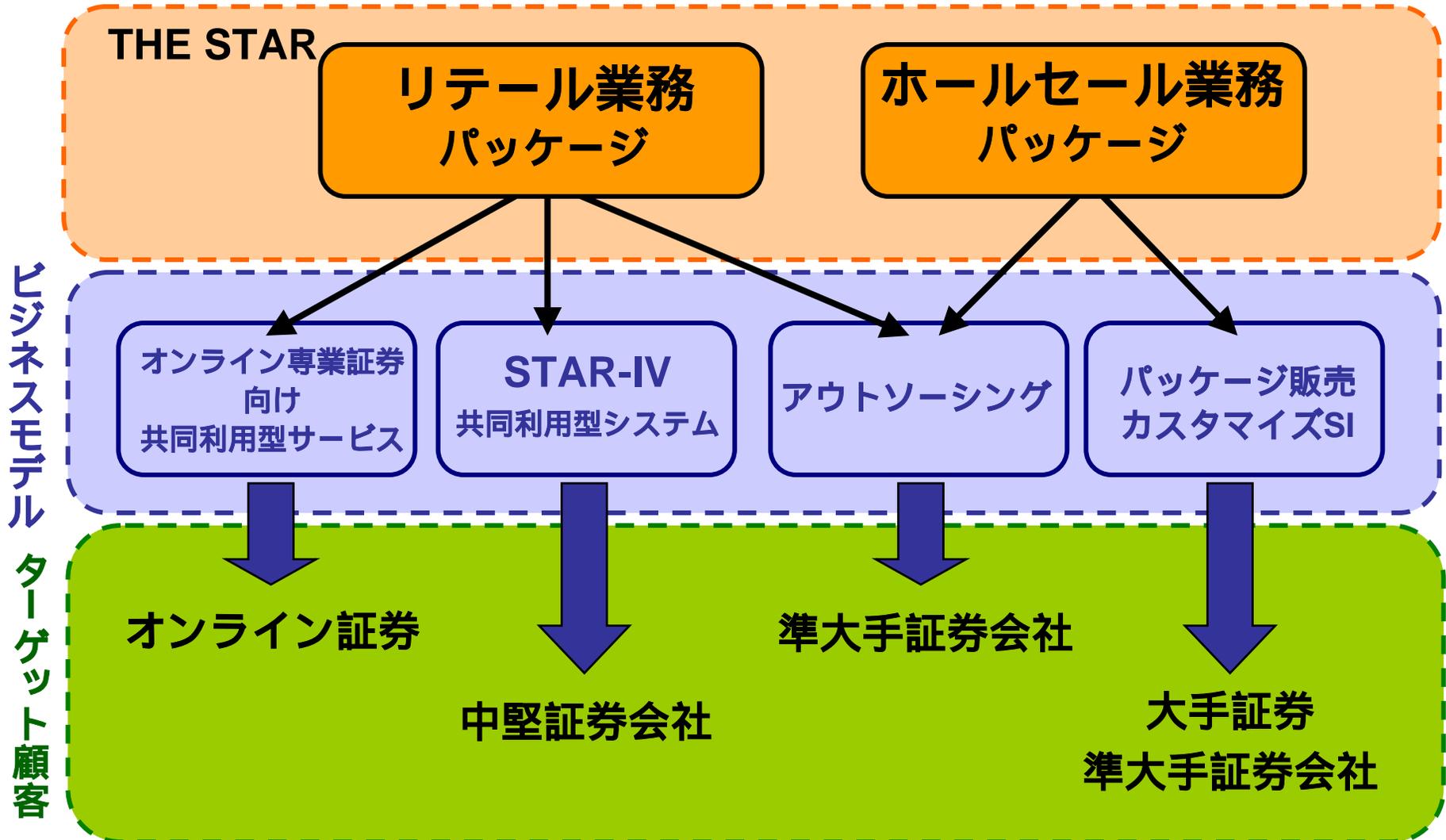
2004年4月1日～



➤ 経営資源の重点配分



事業基盤の拡大：THE STARの展開



▶レガシーシステム市場への取り組み



■エンハンスメントの効率化

エンハンスメント管理ツール

「DevelopersNet」（DevNet）の活用

■システム運用革新委員会

30%の品質アップ

30%の生産性向上

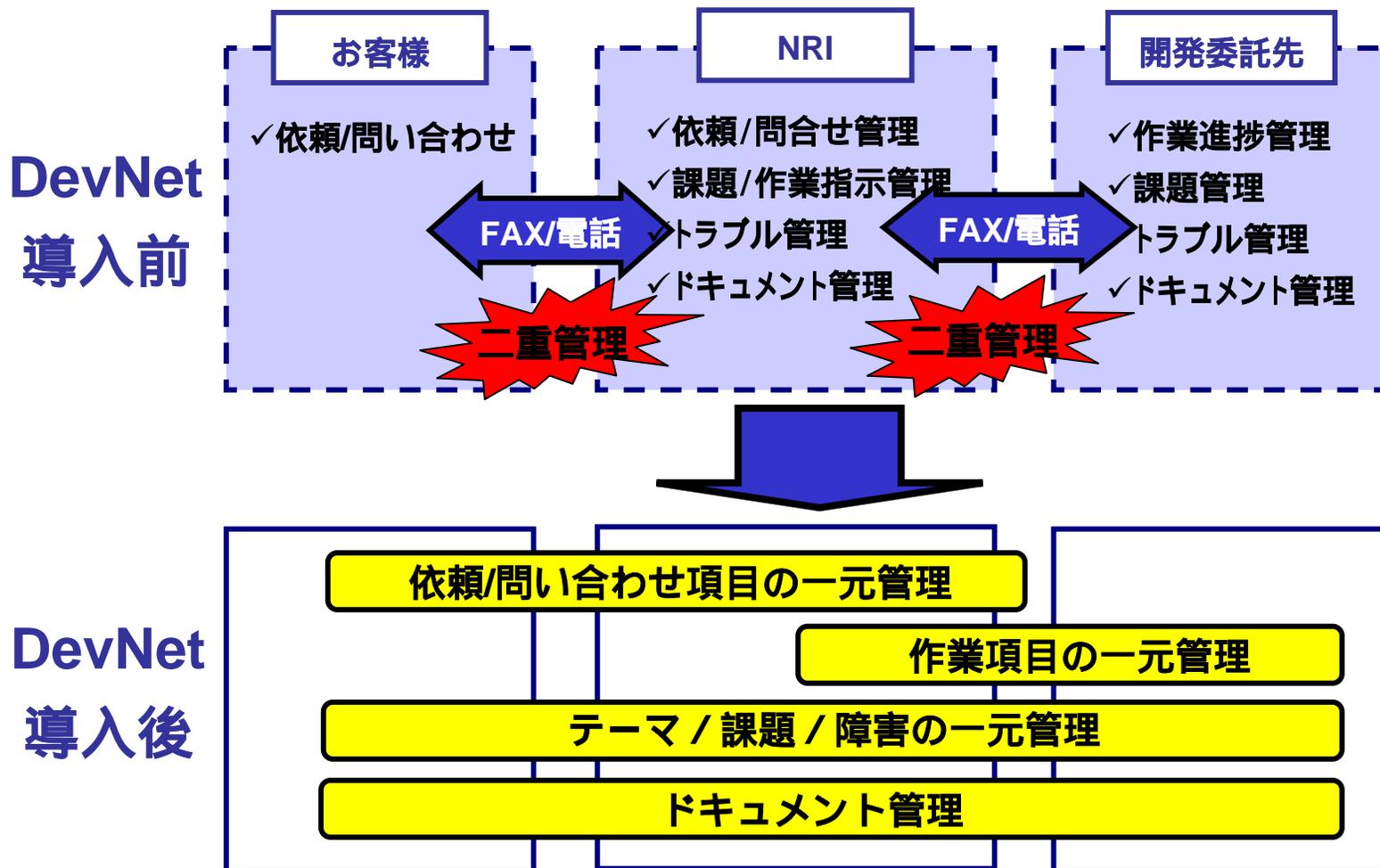
■バックオフィス業務改革委員会

バックオフィスの業務の標準化・合理化

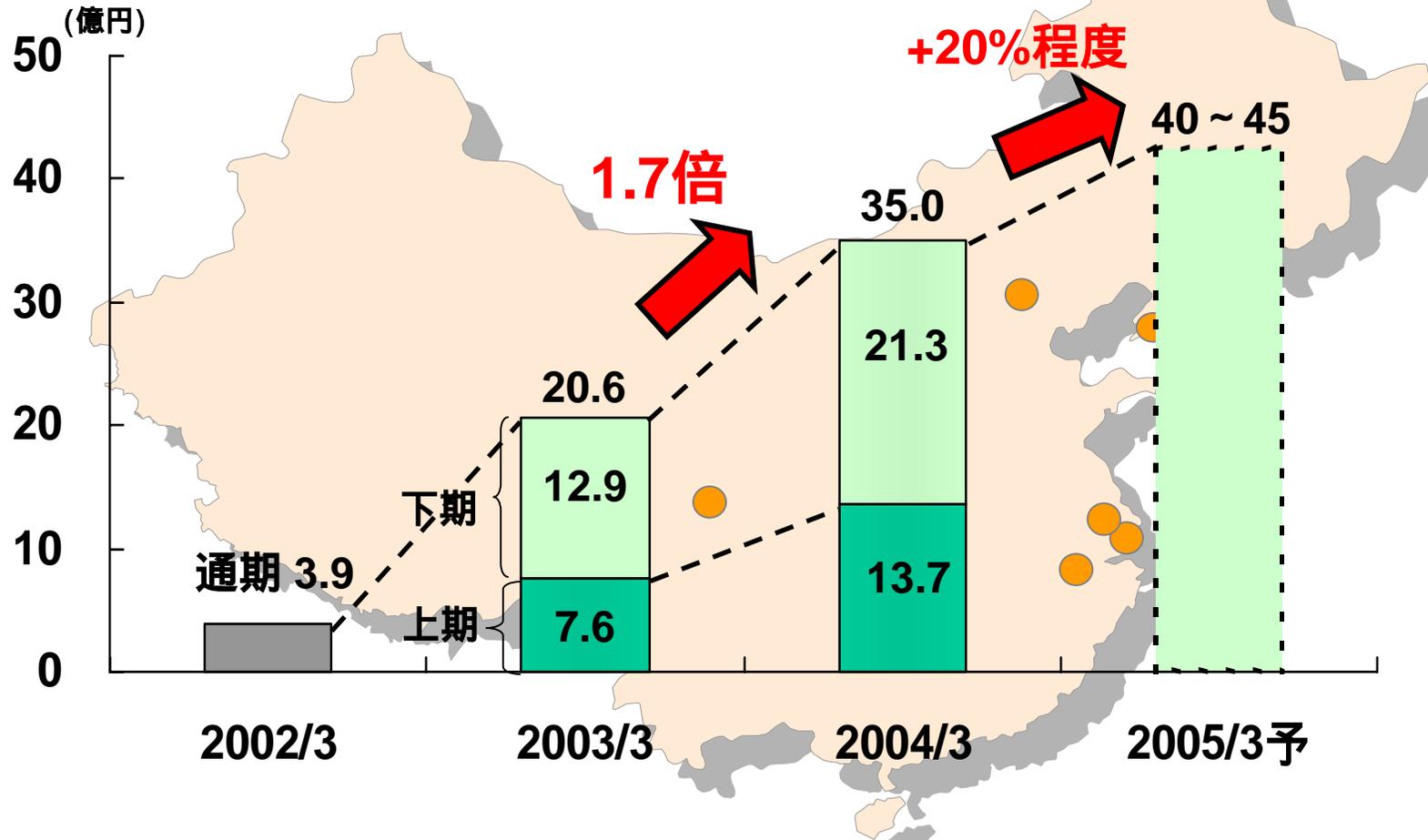
コスト削減努力の継続

自己改革の促進：DevNetの活用

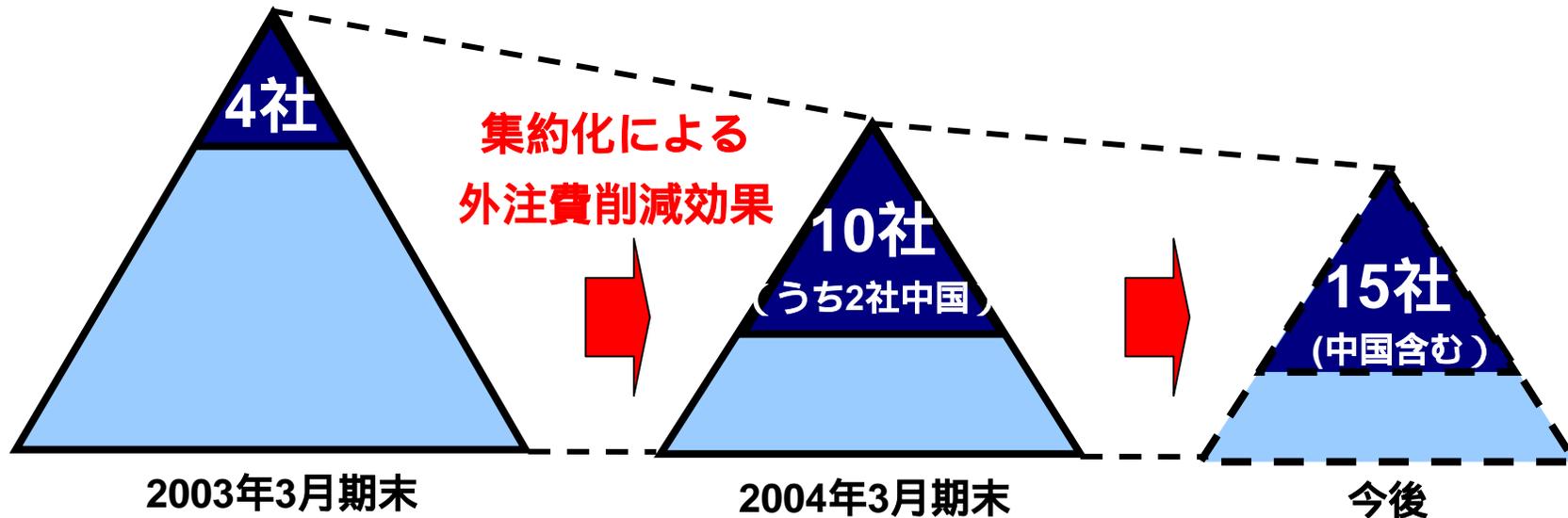
➤ 現在、約7,000人・142プロジェクトで活用中



中国オフショア開発委託の進捗



▶ eパートナー契約の進捗



eパートナー契約先 (2004年3月末)

国内 (8社) 五十音順

- ・アルゴ2 1
- ・キューブシステム
- ・ハイマックス
- ・ビック東海
他4社

中国 (2社) アルファベット順

- ・上海中和軟件有限公司
- ・SinoCom Software Group Limited

受注残高（連結）

（百万円）

	2003年3月末	2004年3月末		
			増減額	増減率
開発・製品販売	6,163	13,474	7,311	118.6%
運用処理	79,690	79,350	339	0.4%
システムソリューション	85,854	92,825	6,971	8.1%
コンサルティング・ナレッジ	18,220	15,723	2,497	13.7%
合計	104,074	108,548	4,474	4.3%

- ・本資料は、2004年3月期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
- ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。